

2022年3月30日

報道関係者各位

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) に「槇文彦ルーム」を開設、 貴重な寄贈資料の有効活用に向けた「槇文彦アーカイブ」を始動

世界各地で人々から愛される建築物を設計した国際的建築家であり、また日本独自の伝統的な都市文化と国際的な近代化の潮流を客観的に見据える稀有な思想家でもある槇文彦氏より寄贈された資料を展示、紹介する「槇文彦ルーム」を湘南藤沢キャンパス（神奈川県藤沢市遠藤）のM（ミュー）館内に開設しました。

SFCは、槇文彦氏とその作品と思想を育み、その類稀なる境地に至る足跡や、その源泉となった国際的な文化交流などを物語る貴重な資料の一部を譲り受け、これから建築と都市のデザインを学ぶ世界中の学生や、さらなる発展に向けた研究を志す人々が有効に活用できるようにする活動を「槇文彦アーカイブ」と命名、その拠点として「槇文彦ルーム」として2022年3月から始動しました。

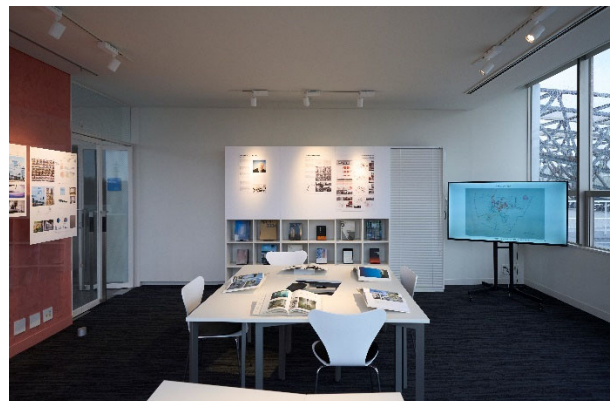
【建築家 槇文彦氏について】

1928年東京都に生まれる。1952年に東京大学工学部建築学科を卒業し、アメリカのハーバード大学大学院の修士課程を修了。ワシントン大学とハーバード大学で都市デザインを教えた。1965年に帰国、株式会社槇総合計画事務所を設立。東京大学教授を務め、1989年まで教壇に立つ。国内外の多数の設計作品を通じて日本の伝統的都市文化とその空間性をモダニズムの国際的潮流の中に位置付けたその思想は世界中から注目を集め、国内外で数々の賞に輝くなど高い評価を得ている。主な受賞歴は、1990年にトーマス・ジェファーソン建築賞受賞、1993年に国際建築家連合(UIA)ゴールドメダルとハーバード大学から贈られるプリンス・オブ・ウェールズ都市デザイン賞受賞、1999年に高松宮殿下記念世界文化賞建築部門受賞。多数ある受賞の中でも、最も建築家にとって名誉あるプリツカー賞を1993年に受賞し、2011年にはアメリカ建築家協会(AIA)から贈られるゴールドメダルも受賞。

慶應義塾では湘南藤沢キャンパス(SFC)の設計をはじめ、三田・日吉キャンパスの図書館など多くの建物を手がけ、教鞭も執った。



慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス



槇文彦ルーム

【槇文彦アーカイブについて】

槇文彦氏より寄贈された貴重な資料の存在を広報し、その内容に触れることのできる機会をできるだけ多くの世界の人々に拡大すべく「槇文彦アーカイブ Web」による情報を発信します。同時に、株式会社竹中工務店による寄附講座「槇文彦建築とアーバンニズム思想」の授業(2021年度秋学期開講、担当 池田靖史 大学院政策・メディア研究科教授他)を通して取り組む資料研究が一体となって「槇文彦アーカイブ」の活動を形成しています。

槇文彦氏に直接、薫陶を受けた人たちだけでなく、その作品に影響を受け、その言葉に触発され、そ

の思想を受け継ぐ人たちは世界中に広がっています。現時点では膨大な資料の調査が端緒についたに過ぎませんが、榎文彦氏の功績を継承すべく末長く活動を実践していきたいと考えています。

榎文彦アーカイブウェブサイト <https://makiarchive.sfc.keio.ac.jp/Home.html>

【榎文彦ルームについて】

「榎文彦ルーム」は「榎文彦アーカイブ」の拠点として、湘南藤沢キャンパスM（ミュー）館の4階に開設しました。榎文彦氏の紹介や寄贈された一部資料の展示など、一般の方にもご覧いただけるように準備を進めています。

◆取材について

取材をご希望の場合は下記お問合せ先までご連絡をお願いいたします。

※本プレスリリースは、文部科学記者会、各社社会部等に配信しております。

【本件についてのお問合せ先】

慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科

教授 池田 靖史

E-mail : yasushi@sfc.keio.ac.jp

TEL : 0466-49-3499

<https://www.sfc.keio.ac.jp/>

【配信元】

慶應義塾広報室（望月）

E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp

TEL : 03-5427-1541

FAX : 03-5441-7640

<https://www.keio.ac.jp/ja/>